

読む得!

在宅医療と介護の連携

第3回

～身近な事例から～

訪問しています!「歯科医師」

歯科医師の訪問で、お口のケアができるようになったケース

脳梗塞後、下半身にまひが残り自宅で療養する女性(70代前半)が、誤嚥性肺炎で入院しました。入院先では口腔内の汚れや入れ歯が合わないことも肺炎の原因であったとの説明があり、歯科受診を勧められました。退院後は体力の低下から寝たきりとなったため、歯科医師に訪問診療を依頼しました。

訪問により、入れ歯の修理と歯垢の除去を行いました(※)。その後は食事もしっかりと摂れるようになり、体力も回復してきています。また、介護する家族へは、夜は入れ歯を外して洗うなどの指導もあり、口腔内の清潔を保つことができています。

(※)症状などによっては、外来受診と同じ診療が行えないことがあります。

☆ポイント☆ 口腔機能の低下や不衛生は肺炎など全身状態にも影響します。寝たきりになってもケアに気を付け、口腔内にトラブルがある場合は訪問歯科診療を利用しましょう。

【歯科医師会 訪問歯科診療に関する相談窓口】

◎我孫子駅北口・南口地区…アライ歯科クリニック ☎7186-0802

◎天王台・東我孫子・湖北地区…小川歯科クリニック ☎7184-5621

◎新木・布佐地区…あらき野歯科クリニック ☎7187-4182



第4回は訪問看護編を予定しています。

我孫子市在宅医療介護連携推進協議会 広報部会

☎ 高齢者支援課 ☎7185-1112